
人吉悪吉の日常

レイチェル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人吉悪吉の日常

【Nコード】

N9296Z

【作者名】

レイチエル

【あらすじ】

俺の名前は人吉悪吉「旧姓 田中太郎」女神サマのおかげで転生したつまり転生者。

地味に穏やかに暮らすはずがところがどっこいそうはいかない過負荷になったり女へ性転換したり原作キャラの姉になったりさあ大変。こうなったら俺なりに好き勝手にやらせてもらっぜ！

プロローグ

みなさん初めまして田中太郎です。

痛っ！石とか投げないでマジでこの名前なんですよ

俺だってビックリだよ！こんないそうでない名前の上位にはいつてそんな感じの名前なんて

「あのう話してもいいでしょうか？」

はっ！忘れてた

「すみません女神さま？どうぞ話してください」

なんとこの金髪美人まじもんの女神さまらしいよ？あっなんで今、俺の前にいるかってそれは・・・

「私の部下の野郎がへましやがったからでございますよ」

俺の心を覗かないでください。そして口が悪いな女神さま。

「あたりまえでしょ！人の寿命を延ばしたり縮めたりするのもただでさえ重罪で何億年に1回の確率なのに死なせちゃったんですよ！

初めてですよコノヤロー！おかげで休みがパーでござえますよ！」

それは・・・まあご愁傷様で・・・

「と言うか俺ってこのままどーすればいいんですか？死んじゃったんでしょ？」

「心配ありません。そのための処置などは考えてあります・・・

と言っても使われるのは初めてですが・・・

「と言うと？」

「はい、まずはあなたを並行世界いわゆるパラレルワールドへ送ります

ちなみに並行世界はあなたの頭の中にあるマンガの世界そのままにしたような世界です」

「ちなみにどんなマンガなんですか？」

「えっ……とめだかボックスですね」

あっ俺このマンガ好きだからけっこううれしいかも

「だったらよかったですそれじゃあ転生先の設定について説明します」

「勝手に心を覗かないでくださいそれで設定とは何ですか？」

「はい、転生先の人物の家族構成や見た目、才能の事についてです」

「そういうのって決められないんですか」

「すみません、さすがに初めてなのでそこまでは……」

「いえ、いいんです。それじゃあ教えてください」

「はい、まず転生先は人吉悪吉という人物です。見た目は人吉善吉の髪を黒くして少し前髪を伸ばした

ようなかんじです。」

「人吉と言うと見た目的にも善吉の兄弟かなにかで？」

「はい、まあそんな感じですよ。しかし善吉はあなたの存在を知りません」

「なぜ？」

「まずあなたの才能のせいなのでその事について話します。」

あなたの才能は「過負荷」で「私は全てを愛す」とかいて「？ 1
ove you」と呼びます。」

過負荷って俺、球磨川とかけっこう好きだけどさ……
じゃあ、瞳さんかな？ やっぱり過負荷なんだから気持ち悪いだろうし……

「まあそうですね。まずこの過負荷は単純に言ってしまうと愛し愛される才能ですよ。」

まあ過負荷なのであなたはいつも愛される事に餓えています」

「それってただの気持ち悪い人じゃないですか」

「いえ、あなたは愛されたい人であり、愛される人なのです。それは人に限りません」

「つまり？」

「はい、もしあなたが地面を愛したとします」

ふむふむ

「すると地面もあなたを愛し見方になってくれるのです」

なんとっ

「例えば地面で盾にしたり、ハンマーのような武器にする事だっ
てできます」

「それってかなりすごくないですか!？あっても俺、筋力ないから
そんな重そうなの振り回せるかな」

「自分の筋肉を愛せばどうですか」

「なるほど」

「それじゃあそろそろ送るよ」

「えっ」

「いや、作者もそろそろ本編に逝きたいだろうし」

「ちよっメタ発言禁止てかいくの字が違う」

「じゃーねー」

俺の下に穴が!って穴!？

「ぎゃあああああああああああああああああああああああ」

「言い忘れた!」

なんだよくそ女神!？俺は今、落下中だよ!

「あんた女の子になって球磨川と一緒に箱庭学園を潰そうとしてる
から」

「ええっ!？」

ていうか

「あの顔で女かよおおおおおおお!？」

ブログ（後書き）

初めて投稿します

1週間に1回ペースで投稿しようと思っています

設定

設定集

主人公 人吉 悪吉

性別 女 年齢 球磨川と同じ

才能 過負荷 「私は全てを愛す」 愛し愛される過負荷

性格 中身が男なので男勝りな感じ、過負荷のため愛される事に餓えてる

しかし、いつもは愛されたい衝動を抑えてる

見た目 人吉善吉の前髪を伸ばして黒くした感じ胸はEカップぐらい

その他 初めて目覚めたのは球磨川と共に箱庭学園に行く途中の道だったため

ものすごく球磨川に驚かれた

人吉善吉の事をあまり悪く思っていないどちらかっていう

とめだかの方が嫌い

第

「きゃあああああああああ」

「何々?」「」「どうしたの」「」「悪吉ちゃん!?!」「」

「どうしたもこうしたもねえよあの糞ヤロウ次会ったら絶対ぶっ殺してやる!?!」

まず殴って蹴って磔にした後あいつの部下の前で・・・ブツブツブツ
ツブツ
つてこの声!?!?

「球磨川ああああ!?!?」

そうだ、俺転生したんだ・・・それにしても・・・

「ここはどこだよおおおおお!?!」

「その質問には私が答えましょう」

めっ・・・女神サマ!?!?いますぐ磔に・・・

「でも正直いってめんど・・・死にたくな・・・いえいえ!?!あな
たも時間がおしいだろうと思うので記憶とかその他もろもろ全てを
頭に刻みこんで私は帰ろうと思いまーす」

うぎ!?!女神うぎっ!?!刻み込むって痛いんじゃない・・・

「MONNDOUNUYOU」

女神サマがログアウトされました

いや……問答無用って……っ!?

「痛ったあああああああああ」

ちよっマジ痛えんだけどっつ

「悪吉ちゃん!?!」「どうしたの?」「大丈夫」

あーっすんげえ痛えまだ少し残ってるわ

それにしてもあれだな、周りの人が焦っていると逆にこっちが落ち着
くな

そっいえばなんで球磨川といるんだ?記憶をさぐってみるかねふむ
ふむなるほどね……

「いやなんでもないよ。もうすぐ善君と会えると思ったたらワクワク
してただけだぜ」

「ふーん」「なら、いいんだけどさ」「……」

なぜにそんな不服そうな顔してんだい?あっ!

「箱庭学園についたようだね楔ちゃん」

「うん」「それじゃあ」「行こうか」

「ああ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9296z/>

人吉悪吉の日常

2011年12月29日11時45分発行